



原子燃料工業(株) 熊取事業所 サイトレポート情報

所在地 : 大阪府泉南郡熊取町朝代西一丁目950番地

敷地面積 : 約 29,800m²、建家面積 : 約12,700m²、緑化率20.8 %

設立 : 1972年9月、従業員 : 約250人 (2020年4月現在)

主要製品 : 軽水炉用原子燃料、エンジニアリングサービス事業

ISO14001認証取得 : 1999年6月、認証返上 : 2013年6月



ごあいさつ

原子燃料工業(株)熊取事業所は、軽水炉(PWR)用原子燃料の開発・設計及び製造、軽水炉(PWR)の炉心管理サービス、原子燃料サイクル関連技術開発、原子燃料関連検査装置等の設計・製作及び電子線照射サービス(ただし、2019年11月末でサービス提供終了)の事業を有しています。当事業所は、放射性物質及び放射線を含めた環境保全を重要課題と位置付け、全員参加で環境保全に取り組んでいます。



環境保全責任者(所長) 塩田 哲也

2019年度の環境の主な取組み

- ☆電気使用量
2010年度比49%削減達成(使用量ベース)
- ☆化学物質使用量削減
アセトン・エチル使用量0.1トン/年以下達成
- ☆地域環境活動への積極的参加
熊取町内河川クリーン作戦
熊取町環境フェスティバル
- ☆環境保全機器の維持・改善活動
廃棄設備(気体、固体、液体)、排気スクラバー、排水設備の保全実施
- ☆省エネルギー活動
事務所内の不要電灯の消灯
事務棟エアコンの更新
高効率照明器具への更新
事務所内クールビズを実施
- ☆訓練の実施
アンモニアガス漏洩を想定した訓練の実施
- ☆廃棄物の発生抑制
2010年度比25%削減(発生量ベース)
- ☆水使用量の削減
洗面所手洗い水の流量調整
一部トイレの節水化を実施

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

■燃料事業

- 軽水炉(PWR)用原子燃料の開発・設計及び製造
- 軽水炉(PWR)の炉心管理サービス
- 原子燃料サイクル関連技術開発



PWR燃料集合体

■エンジニアリングサービス事業

- 原子燃料検査機器の設計・製作
- プラント関連サービス
- 社会インフラ及び社会システムの診断サービス



街灯支柱の健全性評価

【環境配慮ポイント】

私たちは、地球温暖化の原因となるCO₂を排出しない原子力発電の燃料を製造しています。また、原子力発電所及び社会インフラ設備を安全にかつ効率的に運用するための機器の製作及び各種サービスを提供しています。原子燃料の製造においては、廃棄物の発生抑制に努めています。

2020年度 原子燃料工業(株) 熊取事業所 環境方針

私たちは、東芝グループ環境基本方針並びに当社の経営理念及び環境・安全指針に則り、以下の方針のもとに全員参加で環境保全に取り組みます。

(基本方針)

1. 放射性物質及び放射線を含めた環境保全を重要課題と位置付け、関連する法令、条例、協定を遵守するとともに環境保全のために行動します。
2. 環境マネジメントシステムによる自主的なPDCAの管理活動を展開し、環境保全の継続的な向上と環境汚染の予防を目指します。
3. 環境負荷の低減のため節約・抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再資源(Recycle)の「3R」を継続的に推進します。
4. 環境に配慮した製品及びサービスの提供及び地域社会との連携によるクリーン活動を通じて社会に貢献します。

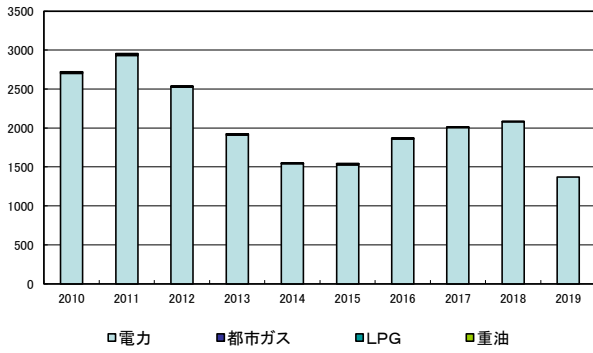
(2020年度重点方針)

新規制対応工事において、化学物質による環境汚染、作業員への影響を考慮することにより、環境保全と作業員の安全確保に努めます。

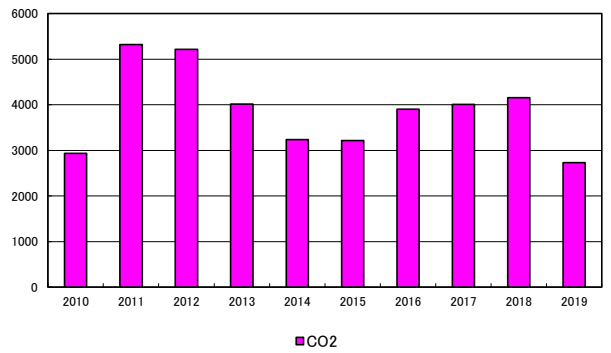
2020年4月1日
原子燃料工業(株) 熊取事業所
熊取事業所長

環境負荷データ

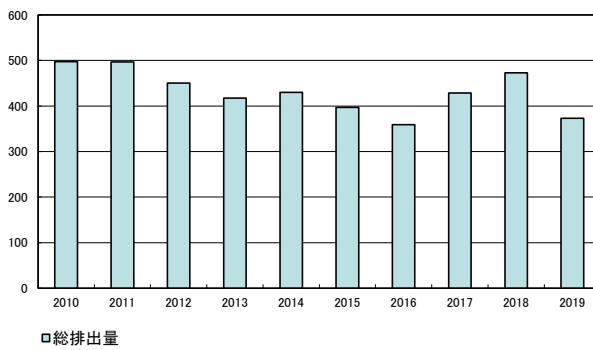
エネルギー使用量 (単位: KL)



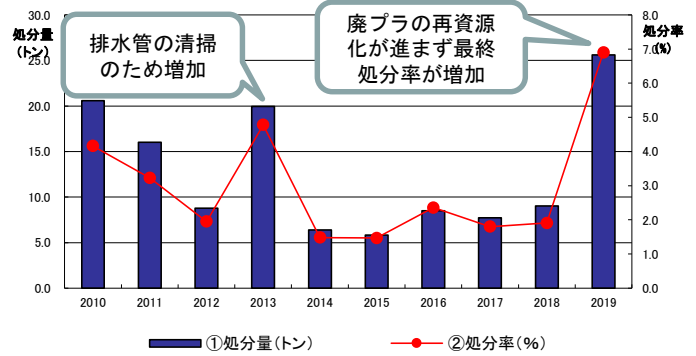
CO₂排出量 (単位: トン-CO₂)



廃棄物総発生量 (単位: トン)

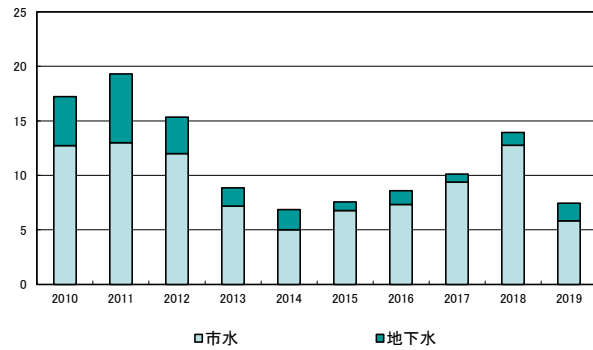


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位: トン、%)

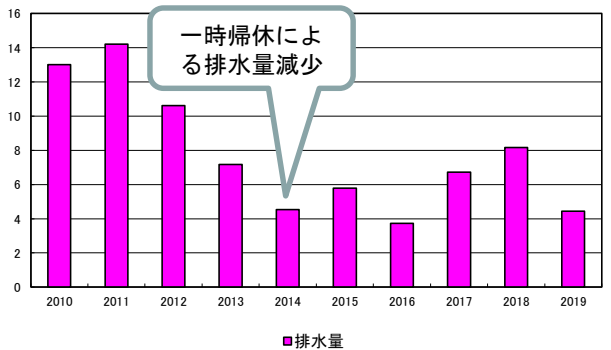


主な廃棄物名: 酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

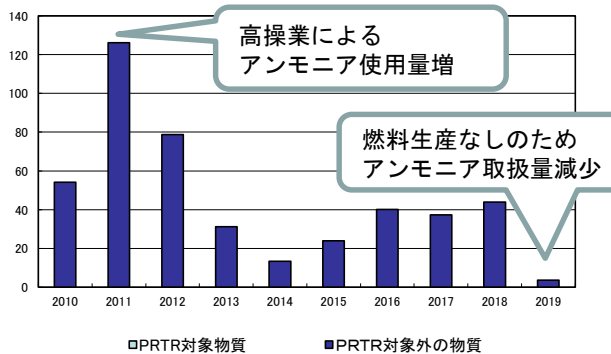
水の使用量 (単位: 千m³)



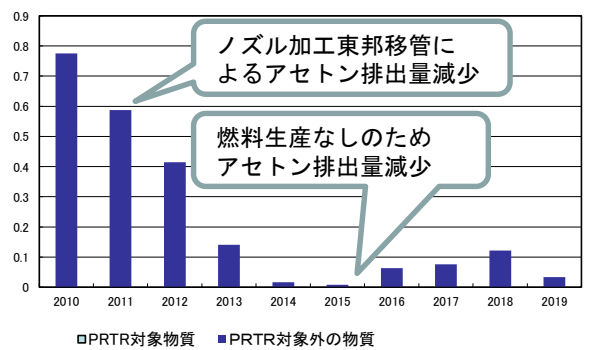
排水量 (単位: 千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量 (トン)



化学物質削減対象物質の排出量 (トン)



主な化学物質: アンモニア、硫酸、アセトン、エチルアルコール

遵法管理状況

<大気測定結果> (該当施設なし)

| | 法規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|--------------------------------------|------|-------|-----|------|
| NO _x (ppm) | — | — | — | — |
| SO _x (Nm ³ /h) | — | — | — | — |
| ばいじん (mg/Nm ³) | — | — | — | — |

<排水測定結果> 排水処理装置 (集中排水処理槽)

| | 規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|--------------|-----------------|---------|----------|------|
| 水素イオン濃度 (pH) | 5.8~8.6 (大阪府条例) | 6.0~8.4 | 6.9~7.6 | 1回/月 |
| BOD (mg/ℓ) | 50 (大阪府条例) | 40 | <3.0~4.5 | 1回/月 |
| COD (mg/ℓ) | 50 (大阪府条例) | 40 | <2.0~6.2 | 1回/月 |
| SS (mg/ℓ) | 100 (大阪府条例) | 80 | <5.0 | 1回/月 |
| 窒素 (mg/ℓ) | 120 (大阪府条例) | 100 | 2.3~13.0 | 1回/月 |
| フッ素 (mg/ℓ) | 8 (大阪府条例) | 1.3 | 0.1~0.9 | 1回/年 |

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音：送風機、振動：圧縮機 (コンプレッサ)

| | 測定場所：時間 | 規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|---------|---------|------------|-------|----------------|---------|
| 騒音 (dB) | 敷地境界：昼 | 55 (大阪府条例) | — | 43~48 | 2回/年 |
| | 敷地境界：夜 | 45 (大阪府条例) | — | 40~43 | 2回/年 |
| 振動 (dB) | 敷地境界：昼 | 60 (大阪府条例) | — | 33(' 18/10/10) | 特定施設変更時 |
| | 敷地境界：夜 | 55 (大阪府条例) | — | 23(' 18/10/10) | 特定施設変更時 |

<その他測定結果> 対象外 (該当施設なし)

| | 規制値 | 自主管理値 | 実測値 | 測定頻度 |
|--------------|-----|-------|-----|------|
| 水素イオン濃度 (pH) | — | — | — | — |
| BOD (mg/ℓ) | — | — | — | — |
| SS (mg/ℓ) | — | — | — | — |

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

| | 状況 |
|--------------------|----|
| 環境事故発生の有無 | なし |
| 工場周辺や地域での環境問題発生の有無 | なし |
| 行政からの指導・指摘の有無 | なし |
| 近隣住民からの苦情の有無 | なし |

<2019年度熊取事業所一般見学会>

2019年度は、京都大学複合原子力科学研究所一般公開の会場内で、当社の事業紹介コーナーを出典しました。225名の方々に当社のブースにお立ち寄りいただき、原子力の安全や当社の事業内容に関する説明を実施しました。

(実施概要)

- ・ 日時：2019年4月6日(土)
- ・ 原子力、当事業所のご説明、クイズコーナー



<河川クリーンアップ活動>

当事業所では、毎年、リフレッシュリバー・くまとり推進会議が主催する近隣河川の清掃活動に参加しています。

今年度は、10月20日(土)に実施され、当事業所から、16名が参加しました。来年度以降も、近隣河川の清掃活動を継続していきます。



<環境フェスティバル>

熊取町主催の「環境フェスティバル2019」にて当社の展示を行いました。約200名の方々に当社のブースにお立ち寄りいただき、燃料製造工程や安全に関する説明を実施しました。

(実施概要)

- ・ 日時：2019年11月17日(日)
- ・ 安全に関する説明、クイズコーナー、キャラクターグッズ配付



<環境モニタリング状況の公開>

当事業所では、敷地内の2箇所に放射線測定設備(モニタリングポスト(MP))を設置し、環境放射線測定を行っております。測定結果は当社ホームページ(<http://www.nfi.co.jp>)にて公開しています。



(実施概要)

- ・ 環境モニタリング結果(1日の平均値)を日積算雨量と共に日毎に公開